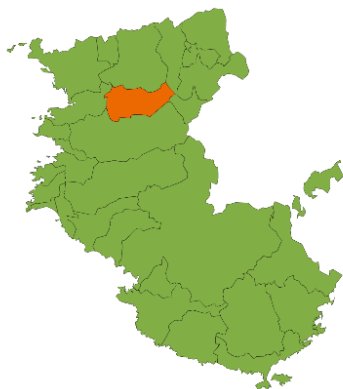


和歌山県海草郡紀美野町

きみのげんきマップの作成



【活動の基本情報】

参加学生数：7名（1年生：3名、3年生：4名）

活動期間：2015年4月～2023年1月

担当教員：永瀬節治

1. 活動実施の経緯

紀美野町では、令和2年度より地域住民に地域の強み・魅力を再度認識してもらい、地域ならではの情報を共有し、それらを手がかりとした町内の散策やコミュニケーションのツールとなる「げんきマップ」の作成を目標とした活動に取り組んできた。これまでに、住民を対象としたアンケート調査を行い、居住歴や町への愛着、地域活動等について把握するとともに、マップ作成に向けた町内の地域資源等の視察や、地域サロンでの交流を行なった。

2. 活動の内容

今年度は計3回（8,10,11月）の現地でのフィールドワークを実施し、昨年に引き続き町内の見どころや店舗等の視察を行うとともに、それぞれの場所で出会った地域の方々の声を把握した。また2カ所の地域サロン（安井サロン、サロンにじの里）も訪問し、地域の高齢者の方々との交流も行うことができた。

これらの情報収集を経て、掲載するスポットやマップのデザイン、レイアウト等について学内での定例ミーティング等で検討を行ない、「紀美野げんきマップ」を完成させた。同マップは紀美野町が発行するガイドブックに綴じ込まれる形で町内に配布される予定である。

3. 活動を通じて

本プログラムは今年度が最終年度となり、テーマに掲げられたマップの完成までのプロセスを無事に終えることができた。コロナ禍により2年目までは十分な現地活動が行えなかったが、前述の通り今年度は現地を訪れる機会が増え、学生たちは自然豊かな山々や地域の素材を生かした店舗、公園や歴史的スポットなどの紀美野町の地域資源を体感するとともに、地域サロン等でさまざまな地域の方々と交流することができた。それらの実体験から得られた気づきや学生たちなりの紀美野町への思いが、マップを通じて地域の方々に少しでも伝わることを願いたい。

4. 成果ポスター

和歌山大学 × 紀美野町

きみの げんき マップ

LIP

2022年度
活動報告

活動目的

今年度は三回、現地実習を行いました。
町民の方々に全面的にサポートしていただき、紀美野町の素敵な自然、施設、商店、そして人々に直接会うことができました。また、紀美野町の抱えている課題や町民のリアルな声も、実際に訪れたからこそ知れたと思っています。改めて、ご協力いただいた全ての方々に感謝申し上げます。このマップ作りを通して皆様に出会えたことを嬉しく思います。

MEMBER

3年 安藤夢乃、石関萌乃、岩本彩花、森島菜月
1年 岡本和歌子、溝端咲紀、龍暁弘

今年度の活動

定例ミーティング

週に1~2回ほど、オンラインと対面を合わせたハイブリッド型の定例ミーティングを行いました。フィールドワークの行き先やマップの構成など、全員の意見を取り入れながら学生間で話し合いを進めて行きました。地域の方とzoomを繋ぎ、地元の人し知らないような、紀美野町の隠れた名所について教えていただくこともありました。

現地実習

今年度は三回、現地実習を行いました。
町民の方々に全面的にサポートしていただき、紀美野町の素敵な自然、施設、商店、そして人々に直接会うことができました。また、紀美野町の抱えている課題や町民のリアルな声も、実際に訪れたからこそ知れたと思っています。



サロン訪問

今年度、私たちは「安井サロン」と「サロンにじの里」という2つのサロンに参加させていただきました。この2つのサロンに参加させていただき、紀美野町の魅力を改めて感じることができました。地域の方々はとても元気で、初めてサロンに参加した私たちのことも温かく迎えてくださいました。このサロン訪問を通して、紀美野町についてより多くの人に知ってもらいたいと強く思うようになりました。

今年度の活動を終えて

今年度は、最終目的である「きみのげんきマップの完成」を達成するために1年間活動してきました。具体的には、定例ミーティングや、3度の現地実習、マップの作成を行いました。
今年度は、昨年度よりも現地実習に行くことができ、現地の方々と話す機会も多くありました。その経験から、紀美野町の魅力をさらに知ることができた1年となり、マップ作りに活かすことができたと考えています。

21

合同報告会 当日の様子

和歌山県海草郡紀美野町

テーマ：きみのげんきマップの作成

メンバー6人で合同報告会に参加しました。私たちの発表を聞いた学生や外部の方々から大きく二点、評価していただいた点がありました。一つ目は、マップや報告会で使用したポスターが「手書きで温かみがある」ということです。手書きのタッチを残しながら、沢山のイラストを加えたマップは、地域、人に寄り添ったマップだと直接お褒めの言葉もいただきました。二つ目は「地域の方々と密接なコミュニケーションがとれている」という点です。目的意識をもって現地訪問を重ね、地域の方々のことを第一に考えたマップであることをしっかり伝えることができました。

他のLPPの発表を聞いたことによって、自分たちの活動において良かったところ、改善すべきところが明らかになり、それらについてもメンバー内で話し合うことができました。本LPPの活動は2022年度をもって終了予定ですが、きみのげんきマップLPPに参加した全員が、今後のためになる合同報告会であると感じました。最後になりましたが、貴重な機会をいただきありがとうございました。

